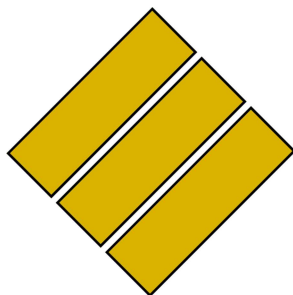


滝川市章

昭和46年4月1日制定



石狩川と空知川の合流点に位置する滝川市は、深く両河川の恩恵を受けて発達してきました。
滝川市と名付けられたのも、アイヌ語の地名「ソーラップチ」（滝下る所）に由来したもので、
市章として川の文字を図案化し、農・工・商の三者が一体となって発展する滝川の繁栄の姿を表したものです。

滝川市民憲章

昭和45年9月12日制定

わたしたちは、母なる石狩川と空知川の寄りあう自然に恵まれた誇りある滝川の市民です。
わたしたちは、風雪のきびしさに耐えて生きぬいた開拓者の精神をしっかりと受けつぎ、たくましい、知性ゆたかな市民として明るい生き生きとした滝川市の発展につとめます。

- からだをきたえ、しごとにはげみ、明るい家庭をつくれます。
- きまりを守り、力をあわせて、住みよい社会をつくれます。
- 教育をたいせつにし、文化をひろめ、豊かな郷土をつくれます。
- 緑を育て、環境をよくし、美しいまちをつくれます。
- 未来に目をひらき、産業をおこし、新しい都市をつくれます。

滝川市健康都市宣言

平成元年4月1日宣言

わたしたち滝川市民にとって、心や体はもちろん、社会のすべてが健康であることは何よりも大切なことです。

わたしたち一人ひとは、滝川市民憲章のもとに、まち全体の健康をより積極的により創造的に増進させ、まちの未来を切り拓（ひら）いていかなければなりません。

平成の幕開けにあたり、大空にはばたく滝川2世紀の明るいまちづくりをめざし、熱い決意をこめて「健康都市」を宣言します。

環境都市宣言

平成15年1月1日宣言

わたしたちのまち滝川は、石狩川と空知川に育（はぐく）まれた豊かな大地と自然の恵みを受けて、健康で文化的なまちとして発展してきました。

しかし、今、人々の営みは、豊かな自然や調和のとれた地球環境に大きな影響を与えています。21世紀を迎え、わたしたちは、地域の優れた環境を再生し、美しい地球を未来に引き継ぐため、環境にやさしいまちづくりに努めることを誓います。

平和都市宣言

平成28年4月1日宣言

世界がいつまでも平和で、みんなが安心して暮らせることは、人類の共通した願いです。

しかし、世界各地では戦争やテロリズム等によって、多くの尊い人命が奪われるなど争いが絶えません。

私たちは、わが国が世界で唯一の被爆国として、戦争のつらく悲しい記憶をいつまでも忘れずに、多くの人々と手を取り合い、核兵器と争いのない世界の実現を強く望みます。

そのために、滝川市がこれまで深めてきた国際交流の輪をさらに広げて、世界中の人々と互いの個性を理解し尊重していきます。

先人が残してくれた美しい自然、文化、伝統をこれからも大切に守り、平和な未来を子どもたちにしっかりと引き継いでいくことを誓い、ここに「平和都市」を宣言します。